

(本メールマガジンは、これまで日越大学構想に関するセミナー・会議等に参加された方や、名刺交換させていただいた方々にお送りしております。)

日越大学は、日本とベトナムの両政府により、両国の友好と結束の象徴として新たに設立された大学です。2016年9月にベトナム・ハノイで開校しました。現在修士課程に約150名の学生が在籍し、日本語と英語を学び、MBA・公共政策・地域研究・ナノテクノロジー・環境工学・社会基盤の各専攻プログラムで勉強しています。

皆さん、こんにちは！日越大学構想・国内支援事務局です。

本メールマガジンでは、毎月1回、日越大学の近況や日越大学を取り巻くベトナムの状況について、読者の皆様にお届けいたします。このメルマガを通して、もっとたくさんの方に日越大学のことを知っていただきたいと思っています。

【今月のトピックス】

1 日越大学ニュース

・ 藺浦健太郎内閣総理大臣補佐官による講演会開催

12月12日、藺浦健太郎内閣総理大臣補佐官が来学され、「A New Foreign Policy Strategy: Free and Open Indo-Pacific Strategy」と題した講演が行われました。本講演は、グエン・スアン・フック首相との面談のためベトナム国を訪問された藺浦補佐官が、日越大学学生との意見交換を強く希望されたことがきっかけで実現しました。講演には85名もの学生が参加し、終了後は活発な意見交換が行われました。

・ 日本企業視察団の受け入れ

11月27日、NPOベトナム懇話会の視察団に参加した7社が日越大学を訪問しました。冒頭、各プログラムの学生代表が日本語と英語で自己紹介を行った後、視察団との意見交換やサステナビリティ基礎論の見学が実施されました。視察団からは本学学生の語学レベルの高さを評価いただく一方、本学学生にとっても、日系企業との交流を図るうえで良い機会となりました。

・吉野家ホールディングス河村泰貴代表取締役社長による就職セミナーを開催

12月1日、株式会社吉野家ホールディングス代表取締役社長河村泰貴氏による特別講義「飲食業を再定義する」が行われました。特別講義では、「吉野家」との出会いから現在の社長就任に至るまでの河村氏の経歴について紹介されました。出会いを大切にしつつ、与えられた職責を全うすべく虚心坦懐に仕事や勉学に励まれた豊富な経験談を聞くことができ、参加した多くの学生や教職員は大いに刺激を受けた様子でした。

・JASSO 主催の日本留学説明会に参加

12月4日、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）ハノイ事務所主催のもと、ダナン大学にて開催された日本留学説明会「JAPANESE EDUCATION DAY」に参加し、2018年度学生募集の広報を実施しました。参加した学生のうち、約8割が日越大学のことを知っているという回答するなど、ベトナム中部においても日越大学の認知度が着実に高まっている現状を確認できました。日越大学では、今後もベトナム中部・南部より優秀な学生を確保すべく、広報活動を展開していきます。

・日越大学第1期インターンシップ生来日記念交流レセプション

・在越日本人留学生によるベトナム語スピーチコンテストの開催

以下のFacebookページに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

<https://www.facebook.com/jicavju/>

2 日越大学で働く専門家の紹介

【第7回：日野喜文専門家（企業管理プログラム）】

ベトナム・ハノイの日越大学で働く方々を紹介するコーナー。今回は、日野喜文専門家（企業管理プログラム）をご紹介します。

1988年愛媛県生まれ。神戸大学経営学部卒業後、修士・博士号を神戸大学で取得。博士号取得後は、神戸大学で研究員として勤務し、外国人大学院生向けのプログラム運営サポートを担当。横浜国立大学へ移った後、2017年2月から日越大学に派遣され、現在は同大学と日越大学の架け橋的存在として活躍されています。同専門家の研究テーマは、ミクロ経済学(ゲーム理論)を用いつつ、長期的な環境におけるチームワークに対してモニタリング、特にその費用がどのような影響を与えるのかを分析することです。またIT技術に関する豊富な知識を有しており、学内のIT環境整備についても幅広くサポートして頂いています。

年齢が若いことに加え、前任の企業管理プログラム専門家と約50歳の年齢差があったこともあ

り、着任時には学生に大変驚かれましたが、今では学生の良き兄貴分的存在として、勉学以外の様々な相談を受ける人気者となっています。

3 プログラム紹介

【第5回：企業管理 (MBA)】

前号に引き続き、日越大学修士課程の各専攻プログラム (MBA・公共政策・地域研究・ナノテクノロジー・環境工学・社会基盤) の学生や講義の様子などを紹介してまいります。今月は、企業管理プログラム (MBA)を紹介します。

企業管理は、国際ビジネスにおいて広い視野や経営学の知識を習得し、グローバル化に対応する経営者の育成を目標としたプログラムであり、マーケティング、経営戦略、リーダーシップ、ファイナンスなど幅広い分野を対象としています。現在、同プログラムの第1期生はインターンの一環として来日しており、幹事校の横浜国立大学にて日本式の講義や修士論文の指導を受けています。

企業管理は、特に現場での実証的な調査研究が重要であることから、学生は、ベトナムや日本で事業展開している様々な日系企業を積極的に訪問し、実習体験を重ねています。日本とベトナムのビジネスモデルの違いを踏まえつつ、将来のグローバル化・国際統合ニーズに対応するための組織の在り方や、組織マネジメントに必要なスキルを考えることを通じて、学生1人1人の将来に繋がるような教育・研究指導が行われています。

企業管理プログラムでは、社交的で明るい第1期生と、落ち着いた学生が集まる第2期生とで雰囲気が大きく異なっていますが、どちらの学生も精力的に様々な活動へ参加する姿勢は共通しています。ベトナムや日本で行われる就労体験などのイベントには、同プログラムから毎回多数の応募があります。第1期生はアメリカ大使館主催のビジネスコンペで3位入賞、また第2期生は日越大学のサッカークラブ立ち上げで中心的な役割を果たすなど、課外活動にも盛んに参加しています。

【お問合せ先】

(独) 国際協力機構 (JICA) 東南アジア・大洋州部内

日越大学構想・国内支援事務局 神田・新村

Tel: 03-5226-9065 E-mail: 1rtd3-vju@jica.go.jp

日越大学 HP <http://admission.vju.ac.vn/>

JICA HP <https://www.jica.go.jp/project/vietnam/040/index.html>

日越大学 Facebook (ベトナム語) <https://www.facebook.com/vju.edu.vn/?ref=ts>

日越大学 Facebook (日本語) <https://www.facebook.com/jicavju/>

【メール配信停止・変更】

本メールマガジンの配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、お手数ですが、日越大学構想・国内支援事務局（1rtd3-vju@jica.go.jp）までメールにてご連絡をお願いいたします。